

VI 早期対応に特色のある取り組みをしている 地域事例

VI 早期対応に特色のある取組をしている地域事例の調査

1. 調査地域

早期からの総合的な支援システムを考える上で基盤となる情報を得るための、先進的な試みを行っている別表に示した12地域を訪問し、関係各課に調査を行った。

2. 調査内容

母子保健、障害福祉、保育、教育委員会等の関係各課において以下の項目について、聞き取り調査を行った。

- ① 乳幼児定期健診の実績、5歳児健診実施の有無
- ② 健診後のフォロー体制
- ③ 療育の支援状況
- ④ 保育所・幼稚園の支援状況
- ⑤ 就学時健診の実施状況
- ⑥ 盲・聾・養護学校、ことばの教室の支援状況
- ⑦ その他

3. 調査のまとめの概要

結果については、必要な機能面に焦点を当て以下の項目について特色を整理した。

| | |
|-----------|--|
| ①統括・調整 | ・ 支援の総合性及び効率性 ・ 利用者の利便性 |
| ②早期発見 | ・ 支援の必要性を適切に判断できる体制 ・ 早期からの支援につながる早期発見 ・ 小学校就学へのつながり |
| ③早期支援 | ・ 幼稚園から高等学校に至るまでの特別支援教育体制 ・ 専門的な療育、教育が受けられる機関 ・ 家庭における支援 |
| ④切れ目のない連携 | ・ 情報の共有化 ・ 継続性と地域差のない支援体制 |
| ⑤保護者支援 | ・ 早期からの情報提供 ・ 子育て支援 ・ 相談に対する負担感の軽減 |
| ⑥社会基盤の充実 | ・ 人材の養成 ・ 関係者の専門性の向上 ・ 社会への啓発 |
| ⑦現状の成果と課題 | |

早期対応に特色のある取り組みをしている地域事例

| 地域 | 人口(上段) 出生数(下段) | 統括・調整 | 特色ある取り組み | 主な内容 | Key word |
|----------|-----------------------|---------------------------------------|--|---|------------------------|
| ①群馬県館林市 | 80,610人 約770人 | <連携> 保健福祉部 教育委員会 | 幼保小連携と小学校情緒障害通級指導教室幼児部における取組 | 就学前教育と小学校教育の円滑な移行についての取組。小学校内に設置された情緒障害特別支援学級幼稚園における支援。 | 特別支援学級幼稚園の支援 |
| ②東京都三鷹市 | 171,612人 1,434人 | <連携> 教育委員会 療育センター | 総合教育相談窓口と子ども家庭支援ネットワークが連携して取り組む特別支援教育 | 教育委員会に総合教育相談窓口を設置。乳幼児健診による早期発見・早期発達支援と特別支援教育をつながり。 | 総合教育相談窓口のワンストップサービス |
| ③神奈川県横浜市 | 3,602,263人 33,023人 | <連携> 教育委員会 保健福祉センター 地域療育センター | 総合リハビリテーションセンターにおける早期発見・早期支援 | 早期発見から療育による早期支援体制を整備。保健師の専門性を高め、健診を充実。幼・保・小との連携による就学への支援。 | 幼稚園・保育所と地域療育センターとの連携 |
| ④山梨県甲州市 | 36,808人 約300人 | <連携> 子育て支援課 教育委員会 | 発達段階の健康診査を活かした支援システム ～甲州市母子保健管理システム～ | 3カ月～5歳までの7回の健診システム。保健師、家庭相談員、教育委員会が連携した支援チームによる就学に対する支援。 | 発達障害スクリーニング票 (試作版) |
| ⑤長野県駒ヶ根市 | 35,000人 約350人 | <統括> 子ども課 | 子ども行政を一元化した「子ども課」による支援システム | 子ども行政を一元化した子ども課を設置。乳幼児期から青年期までの一貫した施策の展開とコーディネーター機能。 | 子ども行政の一元化 (統括・調整機能) |
| ⑥三重県亀山市 | 49,173人 413人 | <統括> 子ども総合支援室 (健康福祉部) | 子ども総合支援室を中心とした発達支援の取り組み | 子ども総合支援室が早期発見・支援の中核。就学指導と特別支援教育の橋渡しを実施。就労支援や生活支援等のとぎれのない支援。 | 子ども総合支援室 (統括・調整機能) |
| ⑦滋賀県湖南市 | 56,076人 540人 | <統括> 発達支援室 (健康福祉部) | 発達支援室を中心に就学から学齢、就労まで一貫した支援 「湖南市発達支援システム」 | 関係機関の横の連携と個別指導計画、個別移行支援計画による縦の連携。乳幼児期から学齢期、就労期までの一貫した支援を実施。 | 発達支援システム (統括・調整機能) |
| ⑧兵庫県神戸市 | 1,525,389人 12,280人 | <連携> 保健福祉部 教育委員会 | 学びの支援センターを核とした支援システム ～保育支援シートの作成と幼児ことばの教室と幼稚園の連携～ | ことばの教室を中心に幼児から学齢期までの支援を実施。学びの支援センターによる早期の実態把握と実際の学校支援。 | 保育支援シート 幼児ことばの教室 |
| ⑨鳥取県倉吉市 | 53,175人 450人 | <連携> 福祉課 健康支援課 教育委員会 | 福祉課を中心に保健・福祉・教育が連携した発達支援の取り組み | 保健、福祉、教育が一体となり生涯を通じたケアマネジメントや地域ネットワークづくり等の発達支援。 | 生涯を通じたケアマネジメント |
| ⑩島根県松江市 | 196,000人 1,500人 | <連携> 健康増進課 子育て課 教育委員会 | 幼児期からの一貫した相談支援体制 ～特別支援幼児教室の取り組み～ | 乳幼児期からの一貫した相談支援体制を整備。特別支援幼児教室における早期からの相談・支援。支援をつなぐファイルの活用。 | だんだんファイル 特別支援幼児教室 |
| ⑪山口県周南市 | 154,238人 1,269人 | <連携> 健康増進課 教育委員会 | 健康増進課と教育委員会所管の「幼児ことばの教室」を中心とした支援 | 母子保健による健診後支援の充実。幼児ことばの教室による相談支援と幼小連携。養護学校による相談支援と教育支援計画の策定。 | 幼児ことばの教室 |
| ⑫徳島県吉野川市 | 46,794人 330人 | <連携> 健康増進課 発達支援センター 教育委員会 | 母子保健係を起点にしたNPO法人と養護学校による支援 | 母子保健係を起点にNPOと特別支援学校が巡回相談等により、保育所、幼稚園の日常の対応を支援。 | NPO法人と特別支援学校による支援 |

